

# 山田町からの声

山田町社協復興支え愛センター長  
(福) 山田町社会福祉協議会  
事務局長 福士 豊さん



新しい「やまだ弁講座」集めておきたいと思います。

早いもので、あの日から10ヶ月が過ぎようとしています。ボランティアセンターの立上げは4月9日と沿岸被災地のボランティアセンター設置から1ヵ月後と遅くなりました。適当な場所がない、施設がないなど、ボランティアさんを受け入れる環境整備がなかなか整わないことが理由でありました。結果として、高台にあるB&G海洋センターを拠点とする官民一体の山田町災害ボランティアセンターとしてスタートすることとなりました。現在、皆様のご支援のお陰で町は少しずつ復興へと向かっておりますが、道のりはまだまだ遠いような気がしております。私たち社協もボランティアセンター運営や本来の地域福祉事業を進めるためサロンやカフェの開催など崩壊したコミュニティを再構築すべく微力ながら奮闘しております。

この10ヶ月を振り返って見ますと日々、気持ちが落ち込みそうになった時などボランティアの皆様の笑顔と元気が私たちの復興へのエネルギーの源となっていました。全国の皆様から多くの支援を頂きましたが、特にも「みえ」の皆様からは現地事務所を開設して頂くなど物心両面にわたり度重なる応援を頂くこととなりました。心から感謝であります。無知とは言いながら、これまでの活動において皆様方には大変失礼な言動や行動が多々あったものと思っております。この場をお借りし心から深くお詫び申し上げます。

春(待ち遠しいです。)になりますと、現在休止しているボランティア受け入れを再開することとなりますが、また、また、皆様のお力をお借りすることとなります。何時までも他力本願ではダメ!!! と思いつつも今少しお願いしたいと思っております。

みえの皆様にもちのくやまだからありがとうございます感謝を込め御礼とさせていただきます。

## みえボラの団結力は本当に素晴らしい!!

みえボラ36便の皆さんの活動が終わってから、山田町のボランティア活動は一気に静けさに包まれました。改めて皆様のお力、熱い思い、実行力に感服するとともに、感謝の念がつきません。今振り返ると、センター開所時から一緒に活動させていただいたのがみえボラの皆さんでした。ガレキ撤去の主力として、また、その他多種の活動、センター運営まで活躍されたのが皆さんです。常に山田町に滞在し、困ったときの「みえボラ」。そんな存在でした。切れ目なくボランティアの派遣をしていただき、そして山田町の復興を共に見てきた皆さんとは、今後も良いお付き合いが出来ればと真に思っています。みなさんありがとう。そして来春またお会いしたいです。



(福) 山田町社会福祉協議会  
事業推進係長 阿部 寛之さん



山田町災害V.C.の皆さん  
(アリーナ班: 佐々木さん, 五十嵐さん, マッチング班: 大手さん, 田村さん, 横田さん, 資機材班: 佐藤さん, 沼崎さん, 配車班: 岩浅さん)

## 「ありがとう」の一言に尽きます。

みえの方々には、遠く知らない山田町まで来てもらって「感謝」の一言です。引き継ぎがしっかりできているので、新しい便の方が来ても対応がし易く、慣れていない時には、助けられること、教えられることもたくさんありました。運営の頃、夜遅くまで頑張ってくれていたことが印象深いです。依頼主の方から「話し相手になってもらえて嬉しかった」という声もあり、地域の方にも、積極的に話しかけてもらっていたことがよく分かって有り難かったです。毎朝の朝礼でもノリ良く、いつも賑やかで雰囲気明るくしてくれていたもので、第36便を見送った後は淋しく感じました。みえの皆さんとの楽しい思い出と出逢いに感謝しています。晴れの日も、雨の日も、風の日も、台風の日も、活動して下さって本当にありがとうございました。

みなとや  
山崎政子  
さん



震災直後、店の中は陥没、壁や窓も流れてきた油で考えられないくらい汚れ、とても店を再開できる状態ではなかった。やっとの思いで入ってもらったボランティアさんのことは、ハッキリと覚えている。みえボラの方々には家の清掃など、何事も快く引き受けてもらって有り難かった。「申し訳ないね…」と言った時に「好きで来ているから」と言ってくれたことが今でも忘れられない。皆から手伝ってもらって、やっと家になった。色んな方の出入りがあり、今がある。あの方たちがいなかったら、とても考えられないことばかり。心ある人が沢山来てくれて、すごく感謝しています。

東日本大震災、命は一家全員助かったけれど自宅は全壊、商売している二店舗は流出、家を取巻くガレキの山にただ茫然、成す全てを失った。そんな時三重県のボランティアの皆様が、家の周りをきれいに片付け積重なったガレキの下より基の土が出た時、その働く姿、人の温い支え、涙がこぼれ又勇気をいただいた。7月31日、皆様がきれいにしてくれた場所でお店を開けた事、本当に感謝します。次は自宅を造ります。

本当にありがとう。

エポック  
箱石 明彦さん・キノ子さん

